

# 会 議 録

会 議 名	令和元年度第 2 回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和元年 12 月 13 日 (金) 午前 9 時 00 分～ 9 時 55 分
場 所	辰野町立辰野図書館 2 階会議室
出 席 者	委員 6 名中 4 名 (事務局：宮澤教育長、西原課長、辰野図書館職員：千田・吉澤)
会 議 次 第	<p>進行 課長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のことば</li> <li>2. 教育長あいさつ</li> <li>3. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小野図書館について</li> <li>2) 令和元年度図書館まつり報告</li> <li>3) 令和元年度図書館利用状況について</li> <li>4) 令和 2 年度予算・事業計画について</li> <li>5) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会のことば</li> </ol>
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小野図書館について 辰野図書館長から説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>2) 令和元年度予図書館まつり報告 辰野図書館職員から説明し、ご了承いただく。</li> <li>3) 令和元年度図書館利用状況について 辰野図書館職員から説明し、ご了承いただく。</li> <li>4) 令和 2 年度予算・事業計画について 辰野図書館職員から説明し、ご了承いただく。</li> <li>5) その他 なし</li> </ol> </li> </ol>
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>いろいろな事情で今日は限られた時間だがかなり重要な議題もある。ご協力のほうをお願いしたい。</p> <p>協議事項 1) 小野図書館について、ちょっとお時間をいただいて私の方から話をさせていただきたい。先般事務局の方から前回、8 月に小野図書館で開催した本協議会の会議録をいただいた。その中で、小野図書館に関わることについて、過去の図書館協議会の記録と今回の記録を私なりに読み直させていただいた。いくつか問題点というか、ここで協議会としての方向付けをするために考えなければいけない点を絞ってみた。三つあるわけだが、一つは、これまで小野地区の関係する方、区長それから当時の宇治議員含めた皆さん中心に図書館をどうするかという話が進められてきて、いろんな経緯で小野図書館は公共の施設として、耐震構造・防火構造含めてこのままの存続は難しいという方向付けができてきたかと思う。そういういきさつの中で、宇治議員、振興会、区長の方々と町当局として副町長、教育長、当時の原課長の三者との話し合いがあったと。その席で副町長から小野図書館を(今年度 3 月末)廃止をする、という話があった。これは前回の会議の中でもご発言があったが、教育長の言葉をお借りすれば「寝耳に水」というような話。これは端的にい</p>

	<p>うと教育委員会の中で十分に議論が進んでいない、町当局とも話がまとまっていない中でのトップの発言であったと思う。そのことについてはやはり私なりに考えても少し問題があったのではないか。話しは離れるが教育委員会中心にずっと協議を続けてきた川島小学校存続の問題も、一定の結論・方向性が見えている中で、武居町長の発言で覆る。こういうことは傍から見れば、どういういきさつでそういうことになったのか明確でない。教育委員会軽視もはなはだしいという、行政が教育委員会の独立性をないがしろにしているのではないかという思いもあり、今回のことも、私の意見だが、非常にそういう意味では教育委員会が軽視をされてきたのではないかと大変残念に思っているのが一つ。もう一つはこの図書館協議会に関わることで、この間、私は会長をおおせつかつており、何回か小野図書館に関わる会合がもたれていた訳だが、ただの一度も図書館協議会の方へ出席要請がなかった。そういう意味で言うと、この協議会は一体どういう位置づけであったのか、蚊帳の外に置かれたまま結論だけが伝わってくるという中で、これを協議会として単純に了承せよということには私個人的には承服しかねるという思いはある。ただ、冒頭に申し上げたとおり、小野図書館の建物の老朽化であるままでは公共の施設としての存続は難しい、このことについては理解できる。今この全体の中で動いている大きな動き、これについて白紙に戻せとかいう考えは私個人としては持っていない。ただ協議会とすれば、建物の問題と図書館機能の問題は別に考えて、あくまでも小野の区民、子供さんからお年寄りにいたるまで、ほぼ 100 年にわたる長い歴史を持つ図書館の機能が失われることは、いささかでもあってはならないと思う。仮に小野図書館の建物がここ数年の間に廃止になって使えなくなるという方向付けになったとしても、まず図書館機能をどう後退せずに維持するかを並行して考えていただきたい。それ抜きにただ廃止するというような議論が進んではならないと思う。こういう意味で副町長発言に至るまでの経緯を、私達及び小野の区民の皆さん、辰野町民の皆さんに分かりやすく説明をする形なり機会を設けてほしいと考える。私の意見も含めて申し上げたが、協議会とすれば小野図書館の図書館機能の方をどう、後退せずに維持し、そして図書館を廃止するという問題についてどういう風に考えていくかということについてのご意見をいただきたいと思う。</p>
<p>課 長</p>	<p>(経過資料説明)</p> <p>事務局としても、建物自体は古いので使うにしても大変、補修するにしてもかなりの費用がかかる。それよりは、新たに地元で農民研修センターを建て替えたいという要望が出ていて、町としても何とかしたいという中で、その中に図書館機能を移行したいという気持ちがあった。防衛省の補助金を受けてそのつもりで国へもあげていたが、何らかの重要な計画があるところならば予算がつくが、ないところには予算がつかないので、どうしたらいいか考えているところである。当初は(農民研修センターが)新くなればそちらに移行するつもりでいたが、農民研修センターに代わる建物が 2 年、3 年先になってしまう可能性もある。それよりも(小野図書館の)建物自体が使うにふさわしくない状況になっているので、まずは閉館して、書類・書籍の整理もあると思うが新しい建物へ移行できるような形で機能をどこへ残すかということを検討しながら令和 2 年をやっていったらどうかと思っている。</p> <p>会長の言われたとおり、この協議会で小野図書館の協議がされていなかったことは事実、大変申し訳なかったと思う。ぜひとも前向きに、(図書館)機能を残して、これからどうしていくかということを経理局としても考えているので、よろしく願いしたい。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ちょうど一年前、(資料)時系列の下の、1 月 25 日の町の教育委員会で図書館について協議をした中では、利用状況等様々なことを考えると、現行の図書館の活用は</p>

	<p>厳しいということで閉鎖の方向でいくと。けれど図書館はなくすではなくて何らかの形で小野地区に存続させていくという、地域住民が活用できる方向を検討するという方向では決めている。これについては前加島町長と話をする中でもこの方向でという話だった。それができるまでは今の形を維持していこうというのが当時の教育委員会の結論であり、今でも変わっていないと私は思っている。今課長の説明した、新たな施設ができればそこへ移すという想定で町長とも協議をしてきたし、教育委員会でもそのことを念頭において1月25日に協議をしている。大きな問題は、建物の耐震化がされていない、維持していくのも厳しい、となるとどこかへ移すか。農民研修センターへ移すとしてもあそこも耐震が厳しい状況で、そこへも持っていけないとなるとどういう風にするのがいいのか、非常に難しいところ。</p>
会 長	<p>防衛省の補助金というのは、農民研修センターのようなものを作るときに出るのか、どういう理由で。</p>
課 長	<p>射撃場のところは昔スキー場があり、地元コミュニティゾーンの射撃場に奪われてしまうという意味で。農民研修センターのほか、押野や藤沢の集会所、飯沼のほうの下村、中村などいくつも集会所を作った。そのようなコミュニティセンターを4箇所ほど作ってあるが、すでにあるからあえて農民研修センターをつくるというともっと小さくなってしまふ。地元の要望は今より大きい平屋のものだがそれだとできないという話になって、では老人福祉センターはどうかと向こうから言ってきた。しかし老人福祉センターを作る理由が、自衛隊があそこを通るだけでそれが支障になるから老人福祉センターをとということにならない。理由付けを考えて松本駐屯地へお願いはしている。自衛隊と防衛施設局と町と一緒に何らかの形で公共施設という形のものを作りたい。その中では老人福祉センターが規模的にも補助金的にもいいところだが、理由付けが、オスプレイが通るとかそういうところならすぐ予算がつくがそうでない。今、道路だけは自衛隊予算で改修を行っていて、一施設に一つの補助をつけられることになっている。今年までが道路予算で、両小野小学校から上の道を入替えして舗装しなおしている。来年度は事業がなくなるので、当初は令和2年度からやる予定をしていたが国のほうで事業メニューが該当しないということで、何か代わるいいものがあれば当然早くやりたいと思っている。</p>
会 長	<p>射撃場をつくるについての補償ということで分かった。地元としてはA委員。</p>
A 委 員	<p>以前からどういう流れでということはずいぶん見えてきた段階。いろいろ思うと絡みが大きすぎてここで発言していいのか、図書館というものが小野の地域の中にとっては、最近自分も考え直したのは、あまり歴史的なものというのは個人的には考えないタイプだったが、ニューヨーク公共図書館の映画を観たときに、改めて図書館とは何なのか、生活に直接役立つのかとかいろいろ考えた。こういった(小野図書館)経緯をもらって、一つのレガシーではないが、図書館というのはこんないろんな情報を、国柄もあるかと思うが、求めるほうの国民も権利を持っていて主張はする、図書館はひっきりなしに…フィルムだから収まるがそのぐらいにして一つの権利としてやっている、図書館とはすごいところだと。日本もそのぐらいの意識を持たないとだめなのかと。今なぜ個人的に小野図書館に関心を持っているかというと、今両小野学園にかかわっているが、塩尻には北小野に支所がありそこは地域の育成会とかの役がありますがその資料がある。支所の職員がその資料をすべてストックしてある。すると役員にその年なった会長は支所へ行って資料をみて、前はこういうことをやっていたとか今度こういうことをやってみようとか参考にして考えることができる。ところが小野の場合、役員はゼロスタート。何をやっていいか</p>

	<p>分からないまま一年流れてしまう。そういうときに、今図書館の機能とか問題になっているがこれからの図書館のあり方というもの考えていかなければいけないと思うが、やはり図書館の持つ意味というものをもう一回考えなければいけない。また、地域で考えなければいけないとなると、やはり区に話が、今回のような協議会の話や今の町の考えていることを具体的に投げかけてもらう場というものには大事。その中で、地域の中でも「そんなに図書館は」と考えている人もあれば「いや、そういうことを考えるには図書館は必要」と新たに考えることもあるのではないかと。そのときにこの協議会の持っている役割というのが、ある意味では行政とも違うし地域とも違う、その橋渡しみたいな形では重要な役割があるのではないかと改めて思った。図書館協議会の委員になってよかった。それで、自分が何ができるわけではないが、この夏に小野図書館を開いていただいて、子どもたちはじめ地域のよりどころ的などころができないかと、個人的に趣味で集めていたもので子どもたちに、昔のおもちゃ、今で言う電子おもちゃでないものをとということで参加を呼びかけた。少しPR不足だったがそういった、いろんな形で、建物は確かに古くはなっているけれども愛着のあるものですし、小野の場合には小野と北小野が何か違った形の交流ができる場が、社会教育という関係の中で接点のできる憩いのいい場所だから、次にはすぐ壊してしまうではなくて、使える方法を個人的には考えていきたいし、そういう話ができればありがたいと思っている。</p>
B 委 員	<p>私もニューヨーク公共図書館の映画を観たが、やはり図書館機能というのは可能性があり文化の拠点として機能していく可能性のあるものだったと思う。レガシーとかそういう過去の記録という点も印象的だったがもう一つは問題解決型という、そのときに何が必要か、住民にとって必要な勉強会をしたり、必要に応じて講師を呼んで講演をしたりする。今日この(中村哲さんのDVD上映会)チラシを見たときに、テレビでは特集を見たが、そのほかにないのかと思ったら、この企画があつてさすが図書館だと。こういうことができるのが図書館。ほかはどこもできない、そうするとぜひその図書館機能というのはすごく大事と思い、小野にぜひ残していただきたいという思いを強くした。予算など大変なことはよく分かるが、今の施設の中で十分に活用されているけれどもまだ余地があるようなところがないとか、駅の横の施設に本を移してとか、傍からみてだが図書館というものは残ってほしい。</p>
会 長	<p>具体的に事務局にお聞きしたい。図書館機能はなくさないという前提は協議会として一番をお願いをしていきたいことだが、仮にここ2、3年の間に、建物は使えなくなる、その間の図書館機能の維持について、単純に本だけどこかへ移してそこでということでは解決しないこともあるが、何かその辺で、たとえば蔵書整理をするについてどうしていったらいいか。それから、もっと住民に寄り添った図書館活動の維持、仮に建物が使えなくなったときのいいアイデアとかあるか。</p>
教 育 長	<p>お二人の話を聞いていて、小野図書館にそれを求めるのは厳しいと思う。あそこでそれだけのものを求められてもきっと町はやっていけない、教育委員会もやっていけないと思う。今の現実をしっかりと直視する中でどういう形で図書館機能を今後残していくのかということ議論したほうがよい。図書館の機能とか果たす役割は当然すごいものであるし、昔から、エジプト時代から図書館は大事にされてきた。人類にとってもとても貴重な財産であるのは分かるけれど、現実を見たときに小野地区のあの図書館をどうするかという視点で今日来ていただいている。</p>
会 長	<p>仮に閉館になったとして、次どこになるかわからないが、場所を移すなりのその間の実務的に、蔵書整理など、どのくらいかかるか。</p>
図書館職員 (吉澤)	<p>蔵書数はそれほど多くないが、蔵書整理の観点で行くと、今司書の方が2人、2時から6時まで平日みえているのでその方たちにお問い合わせをせざるを得ない。いずれ</p>

	<p>どこか新しいところに機能を移すにしても、今の蔵書をそっくりそのまま持つていくというのは現実性がないと思う。一般書と児童書は分けて考え、新しいところに移ると決まったときには、今小野図書館にあるものをそのまま移すというよりは、そのときは新しい図書館としての方向性を見据えた上で蔵書構成を考えて購入するなり所蔵していったほうがいい。今ある蔵書については整理をする方向が一番すっきりする。児童書については一番近い両小野小や両小野学童に対して払出すというか受け入れていただくのが一番現実的かと思う。それでも残るものについては町内の小学校や学童で引き取っていただく、それでも残ったものは、これは一般書も同じだが小野の地区の方たちへリサイクルとして受けていただくのが一番よい。一般書について先ほどから A さんや B さんから歴史とかレガシーというお言葉が出たが、郷土資料というのは本当に大事なものが結構あるので、小野図書館でしかもっていないもの、そういったものについては一旦は辰野図書館に移管をして辰野図書館で保管をするというのが今のところベストではないかと思う。郷土資料でも例えば辰野町誌だとか上伊那誌、長野県誌など辰野図書館で持っているものについては、保管場所の問題もあり持ちきれないものもあるが、一冊一冊、辰野図書館にあるかないか、県立図書館にもあるかないかというのを一般書についてはあたって、保管するか移管するか廃棄にするかあるいは、ほかの図書館に譲るかという方向を出して整理をしていくというのが一番よいと思う。蔵書の中でも郷土資料以外の本当に古い全集、文学全集などは、利用価値としてはあまりないと思われる。どちらにしても整理するには一年位は必要と思う。一冊一冊丁寧に見ていかないといけないしリストアップをして譲って引き取ってもらうにしても資料とリストアップした目録と一緒に現物をお渡しするというのが一定の礼儀ということもあるので、2ヶ月、3ヶ月では無理と思う。</p>
教 育 長	<p>仮に副町長の言うように今年度末で閉じた場合でも、今のことを考えると来年、再来年くらいは小野図書館の職員は今年と同じように確保しておかないと。ちょうど今来年度の職員募集について協議しているところで、年が明けると予算査定もあるが、教育委員会事務局とすれば小野図書館の職員も、(図書館を)閉じても確保していかなければいけないというのは主張していこうと思う。先ほど言われた整理を仮に4月から始めるとしてもどんなにがんばっても最低1年かかるなら、閉じたとしても職員は確保しておかないと。その間は地元の方が図書館をというときには利用もできるのか。</p>
会 長	<p>整理しながら開館もか。</p>
A 委 員	<p>そうしてくれれば、それを小野区に言ってくれれば私は手を挙げる。それで図書館の職員達と一緒にプロジェクト組んで、地域でも必要なものは残してほしいとかそういった声を拾いながら一緒に作業をやればありがたい。</p>
教 育 長	<p>A さんは前回から熱く語ってくれるが、今までずっと 27 年から私も関わってきて振興会の方とも話をするが、地元の熱意が全くない。3月に副町長が「閉じます」と言ったときに、区長も、振興会の会長も一切それに対し異論も反論も出さなかった。ずっとそれで流れてしまった。</p>
図書館職員 (吉澤)	<p>もしその整理を一緒にしていただけるということになると、小野図書館の開設が昭和3年だったので、それから90年以上続いてきた図書館との、地域の人たちとのお別れというとおかしいが、機能は移すけれども、その建物に対する気持ちの、いきなり閉館と言われてなくなるのではなくて、一緒に蔵書を整理したりお掃除をしたりして、一緒に閉じていくというか、そういう気持ちができる理想的な気がした。もし一緒にやっていただけるのであれば。</p>

A 委 員	夏(図書館)借りるときに、我々からすると図書館は土・日は閉まっているのに、夏休みに自分がそういう企画をやろうとしたらお掃除からやらなければいけないのかと思っていたら、絶えず掃除をしてくれているというので、本当にありがたかった。そういった意味でも関われば愛着はあるしそういうものに触れてくると、ここはこういう場所なんだと自分自身も再認識できて、ありがたかった。
教 育 長	仮にあの建物から図書館なくなった、移ったとして、建物は残る。あの建物の後利用をどういう風にしていくのかというのを地元の人たちが考えていただけるとありがたい。教育委員会の文化係としても建物は壊すつもりはない。あれだけの建物、価値のある建物なので、今度は文化財として教育委員会は残したい。ただ、どういう形で残すのかという構想は全くない。駐車場もまったくなく入るのも大変な所だけれど地元がああの建物をこう活用したらいいというのを、今言うように一緒に整理しながら関わっていく中で、一人ひとりが建物を見て、新たなこんな活用法があるとか、あるいは他の、問屋・油屋・郵便局などの古い建物とセットで活用を考えていただくと、特に地元の住民に動いていただくとありがたい。
A 委 員	小野は抱えるものがいっぱい。こんなに抱えてどうするんだと。郵便局も、古いものでいいものだけど、あそこは国道だからなかなか、開放して楽しむことはない。図書館も、考えるとなったらどうしようと。委員になってからは特に。(図書館で)そういう話が、小野の中はいろいろあるけれどどうしたらいいんだという話が、(図書館の)テーブルのところできたら、ただ講演会を聞いてスライドみてるよりは愛着がある。そういった意味でも活用というのは色々な意味で理由付けになる気はする。
会 長	教育長のほうから、あの建物自体は何らかの形で維持して活用と、Aさんからもそんなお話。ぜひ区会のときにもご提案いただいてあの建物をどうするかについて地元の皆さんご検討いただければと思う。そこをどうするかということはこの協議会の範疇ではないので、あくまでも私たちは図書館機能を今後どうするかということで、いま、蔵書整理には一定の期間、最低一年はかかる。それをできれば現状の図書館を継続しながら蔵書整理をしていくと。そして新たな移管先決まり次第移していく。この間他には保育園などをまわっている移動図書館のようなものを拡大して住民の皆さんに使っていただくというようなことも考えられるのではないかと思います。町当局としてはあの建物を壊して更地にするという考えは全くないか。
課 長	今のところない。
教 育 長	それは町長とも確認を、話をしてある。壊すとすると教育委員会の文化係が黙っていない。絶対あれは残さなければいけない財産だといっているの。
会 長	ではAさんは意を強くしていただいて、区の皆さんにまたそんな話をさせていただきたい。一定の方向性が見えたと思う。具体的に、蔵書整理の計画、移転先の案であるとかそうしたことを事務局中心に考えていただいて、折に触れてこの協議会の中でもご提案をいただければと思う。また私の要望であるが、関係する会合などがこれから開かれるようならぜひ協議会の代表くらいは呼び出さなければいけないと思う。それから、その間の経過等がきちっと文書で残っていくよう。区民・町民の皆さんに開示できるときには公開でそうした会合を持っていただくということもお考えいただきたい。
教 育 長	来週教育委員会がありそこにかけるということで本日急遽開催いただいたので、今出た方向を来週の定例の教育委員会に提案をさせていただいて、教育委員会として了承というか方向を決めたいと思う。そして必要な予算折衝をしていこうと思う。
会 長	職員の維持についてはぜひ。ではこの件については以上とする。

<p>図書館職員 ( 千 田 )</p>	<p>(2番以降、令和元年度予図書館まつり報告、3番令和元年度図書館利用状況について、4番令和2年度予算・事業計画についてを資料をもとに説明。質問意見なし。)</p>
<p>会 長</p>	<p>今日は大変重要な小野図書館についての議論をさせていただいた。協議会としての当面の方向性が明確になったと思う。教育委員会のほうにお預けすることもたくさんあったが、よろしくお願ひしたい。では第2回の協議会をこれで閉じさせていただきます。だんだんと寒くなってまいります、皆さんくれぐれもご自愛なさって、よいお年をお迎えになりますよう申し上げ、今日の会議を閉じさせていただきます。熱心なご協議ありがとうございました。</p>